

HIを支える白衣の力
第8回 昭和大学横浜市北部病院

HI(Hospital Identity)は、病院の文化や特性・独自性を高めるうえで重要な、ブランディング戦略です。この連載では、HIを高めるために白衣がどのような力を発揮するか。デザイン性だけではない白衣へのこだわりをお伝えします。



経営層や管理職が現場にしっかり目を向けることを大切にしてきた同院。今回導入したユニフォームにもそれが表現されている

ユニフォームに込めた現場へのまなざし、
「看護師として働くことを誇ってほしい」という願い

今回は、常に現場に目を向け、COVID-19流行にあってもベストを尽くして業務にあたるスタッフを大切に想い、「看護師であること、ここで働くことに誇りをもてるように」との想いから新しいユニフォームを導入した昭和大学横浜市北部病院にて、昭和大学統括看護部長の増田千鶴子さんにお話をうかがいました。



増田千鶴子さん

COVID-19によるかつてない
状況のなか、業務にあたり
続けた現場スタッフへの想い

以前から、昭和大学では附属病院として「現場を大切にする」ということを重視しています。入職前の内定者や新人、またはご家族に、師長や教育にかかわるスタッフから手紙を送ったり、新人マークをつけたナースには周囲の先輩が積極的に手助けしたりといった取り組み

に、その理念が表れているかと思います。

今回のユニフォーム導入の際も、当初からプロジェクトメンバーの念頭にあったのは「COVID-19流行の現在、現場のスタッフは働いていて『楽しい』と思うことがなかなかないだろうな」ということでした。スタッフが前向きな気持ちでいることは、患者さんへのよりよいケアの提供などにもつながります。非常に厳しい状況のなか、少しでも日々のなかで楽しさを感じる瞬間をもって、スタッフどうしで協力していただけるような組織づくりについて考えていました。

看護師であることに誇りをもってほしい。
その希望と視認性を兼ね備えたデザインに

スタッフには、まずは社会に貢献する仕事である看護師であること、そして昭和大学の病院で働くことに誇りをもってほしいと考えました。看護師であることの誇りや自覚につながることで、患者さんやその家族、他職種にとっても視認しやすいことを大切にしました。そのため看護師のユニフォームには、背中にラインが入っています。「背中にラインがある人が看護師だ」といったかたちで、高齢の患者さんなどにもわかりやすく認識してもらえらるため、スムーズな業務にもつながるのではないかと思います。

また導入にあたって、アンケートや試着を行い、実際に着用するスタッフの意見も反映し、シンプルなデザインとしました。そして、デザインには本学のスクールカラーである紺色を使用し、昭和大学の一員であることを表現しています。4月にこのユニフォームを新人に渡した際にも、皆さんがとてもうれしそうにしていたことが印象的でした。

スタッフにも伝わっている「現場へのまなざし」。
ユニフォームもその一環になっている

日々の業務にあたっているスタッフからは、「部署が変わってもスムーズに業務ができるように師長同士でコミュニケーションをとってくれた」「新人や、若手にとっても相談しやすい環境をつくってくれていると思う」といったコメントを受けており、現場への想いが届いているのかなと感じます。新しいユニフォームについても、デザイン面や実用面などから高い評価を得ています。

医師などの他職種から「新しいユニフォーム、似合っているね!」と感想をもらうことがあるほか、校章に気づいて声をかけてくださる患者さんもいます。これまでは医療に関する会話がほとんどだった人とも、より深いつながりを形成するきっかけになりました。



昭和大学の
一員として誇りをもって
ほしいという想いは、
スクールカラーである紺色を
入れたデザインと、袖に
入った校章にも
表現されている



看護師としての
アイデンティティを表す
デザインとして、紺色の
ラインが入っている。
患者さんなどからも
わかりやすいと好評



「新しいユニフォームを
着た看護師が何人かで
集まると、
なかなか印象強い」と
増田さん。患者さんからの
評価も高いとのこと

採用商品：昭和大学オリジナルデザイン



昭和大学横浜市北部病院

2001(平成13)年開院。現在の許可病床数689床。神奈川県横浜市の北部医療圏の急性期医療を担う中核病院として開院し、日本医療機能評価機構認定病院、卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定病院、地域がん診療連携拠点病院などの承認・指定を受け、患者さん本位の医療、高度な医療の推進、医療人の育成を実践している。また、「常に心のこもった病院でありつづける」「無事故の病院になる」「現在のぞみうる最高の医療をおこなう」を理念に掲げつつ、患者さんの権利や医療安全の方針を具体的に示すなど情報公開もしている。
〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1
<https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

ナガイレーベン株式会社

TEL : 03-5289-7891
E-mail : hp-info@nagaiben.co.jp
ホームページ : <https://www.nagaiben.co.jp>